

日本学術会議 科学者委員会 学術体制分科会（第1回）

議事要旨

日 時：平成 30 年 1 月 26 日（火）10：00～12：00

会 場：日本学術会議 6－A（1）会議室

出席者：岡崎委員、苅部委員、佐藤委員、高村委員（Skype）、橋本委員、澁澤委員、
武田先生、松田委員、菱田委員、藤井委員、盛山委員、三成委員、竹中委員

事務局：糸川参事官、大橋専門職付、大澤専門職付

議 題：1）役員の選出について
2）今期本分科会の活動方針について
3）その他

資 料：資料 1 設置要綱
資料 2 委員名簿

議 事：

1）役員の選出について

- ・ 佐藤委員が委員長に選任され、副委員長に武田委員、幹事に藤井委員と高村委員を指名し分科会の同意を受けた。

2）今期本分科会の活動方針について

【関連する先行事例についての情報】

- ・ 10 以上ある関連する提言等を日本学術会議のメンバーフォーラムに掲示、または各委員にメール等で報告することを委員長と相談することが決定した。

【当該分科会の検討の範囲について】

- ・ 大学改革の議論における「学術の立場」をどう理解するかについて意見交換が行われた。
- ・ 企業等民間研究機関は日本学術機関が捉える研究者に含まれることを確認しつつ、全体のバランスをどうしていくかにつき、意見交換が行われた。
- ・ 教育、研究資金問題、男女共同参画の各分野における分科会が科学者委員会の下に設置されているため、密接に連絡調整しながら検討することとした。

【検討対象とする課題について】

- ・ 第 6 期科学技術基本計画と大学改革についての検討の進め方とタイミングに関して、意見交換が行われた。
- ・ 大学改革について、大学側の自己反省的な議論の必要性を含め、望ましい大学制度・政策のあり方を実現する方向性について意見交換が行われた。

- ・ 第6期科学技術基本計画の審議に際しては総花的にならないように留意すること、同計画の審議と大学改革は密接に関連する分野であること、審議の進め方としては、小分科会を立ち上げる可能性も想定しつつ、まずは分科会として広く議論しながら論点を絞り込んでいくことを確認した。

3) その他

- ・ 第2回の日程は4月で事務局が調整することとした。
- ・ 関係機関に対するヒアリングについて、有識者や内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）などの候補があげられた。

以上